

◆R5社会実験(なごまちテラス)の概要

目的 SRTの当初運行(東西ルート)に向けて、既存のバス停で以下の取り組みを行うことにより、バスの乗降のしやすさや交通影響、まちの回遊拠点としての機能や賑わい創出について検証

- ① バス正着性向上：広小路通の停車帯を活用し、テラス型バス停を暫定整備
- ② 回遊拠点の創出：ベンチやデジタル案内板の設置、沿道空地の活用等を実施

日程 令和5年9月16日(土)~11月30日(木)

場所 納屋橋バス停、広小路本町バス停

道路 広小路通 (片側2車線)

既存バス停の課題
バス停前後の駐停車車両による正着性低下(道路上的乗降)等



位置・施設

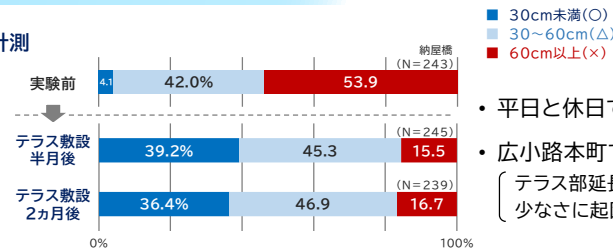


上:時刻表とルート図
下:周辺情報
タッチ式

テラス型バス停の効果と交通影響検証

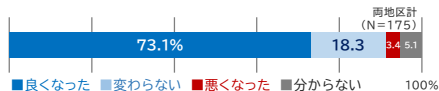
バス交通への影響(正着性・乗降性)

バスとテラスとの距離の計測



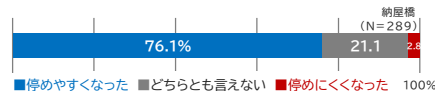
- 平日と休日では同様の傾向
- 広小路本町では大きな改善が見られず(テラス部延長や構造、バス停車本数の)少なさに起因

バスの乗降のしやすさについて(バス利用者)



- 73%が乗降しやすくなったと回答

バスの止めやすさについて(バス運転手)

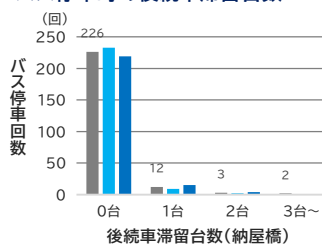


- 寄せやすくなりスロープが容易に設置できるとの意見

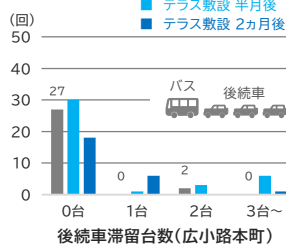


一般交通への影響(後続車の滞留)

バス停車時の後続車滞留台数



後続車滞留台数(広小路本町)



- 後続車の滞留に大きな悪化はない
- バス到着時にテラス横に路上駐車があると第2車線で後続車の滞留が発生



周辺歩行空間の活用検証

ストリートファニチャーの利用・意識調査

木材+アイアのテーブル・チェア・ベンチを設置

- バス待ちだけでなく、飲食、休憩、仕事などで広小路通を歩く人も多く利用
- バス利用者アンケートでは75%が「机やイスがあるとよい」と回答



バス待ち

休憩

バス利用者の机やイスへのニーズ



仕事

情報検索

沿道と連携した賑わい創出の取り組み

【納屋橋】

バス停前の沿道空地で
珈琲・菓子の販売



水曜日のバス停

【広小路本町】

イベント時に合わせて待合空間や沿道空地の
活用による賑わい創出



コッパチエントロジャッポネ 商店街ハロウィンイベント

▶引き続き、賑わい創出の取り組みも実施し、SRTの効果を高めていく